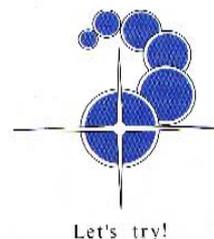


進路だより第9号

令和2年2月7日（金）



彼れを知り己を知らば、百戦して殆ふからず「孫子」

日頃取り組んでいる定期考査や模擬試験は、学力をつける、という面だけでなく、「己を知る」という側面があります。みなさんそれぞれが1年間を振り返ると、工夫しながら多くの試験に挑んできたはずで、その間、自分自身の実力や傾向、今後の課題などが見えてきたと思います。

これからは「彼を知る」ことも重要です。大学入試共通テストや個別学力試験に関しては早めに情報収集に努めましょう。夢や理想を本気で実現させるには、より現実的に物事をとらえ、努力を厭わず実践してゆかねばなりません。そのための第一歩を残りの二ヶ月で歩み出してほしいと思います。

今後の予定（模試・考査関係）

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 2月 8日（土） | 4学年駿台模試 |
| | 5学年大学入学共通テスト早期対策模試 |
| 2月 9日（日） | 5学年大学入学共通テスト早期対策模試 |
| 2月20日（木）～2月26日（水） | 学年末考査 |



5学年大学入学共通テスト早期対策模試について

5年生にとって初めてのマーク形式の模試となります。マーク形式については、正解を選択肢から選ぶパターンが多いのですが、誤答の選択肢に工夫が凝らされているので、基礎知識があっても正解できない場合があります。数をこなして形式に慣れることも重要です。

大学入学共通テストは、国・数の記述問題の出題が無くなりましたが、マーク式問題の難易度が上がります。模試の問題も、大学入学共通テストを想定して作られますので、過去問演習で対応できない部分が多くなります。復習が本当に重要になります。受験後の自己採点をしっかりと行い、一喜一憂せずに弱点を把握して、早くから対策を立てましょう。

学年末考査の学習を通して、1年間の総復習を心がける

考査後は1月の進研模試の復習を行い、3月以降の学習の計画を立てましょう。

5年生は、学年末考査後に、センター試験の目標点の確認や各大学の合格ラインの確認など、受験勉強に向けた具体的なデータを調べましょう。難関国立大学志望者の人はもちろん、大学進学希望者は、志望大学の赤本による入試問題の確認を始めてください。

模試を受験したら

模試の成績が返ってくるまでに、1ヶ月以上の期間があります。模試の成績が返却されてから分析して勉強をするのでは遅い。それまでに復習をし終えておかないと、問題そのものの記憶もあいまいになってしまいます。

模試を受け終わったら、

- ① しっかりと自己採点をする。
- ② 誤答を分析し、弱点分野を把握して、補強する分野を明確にする。
- ③ 模試の解き直し、復習をして同じような問題ならば絶対に解けるようにする。
- ④ 弱点補強を考え、次回の模試までの学習計画を立てる。
- ⑤ 問題冊子と解答冊子をバインダーに綴り、いつでも振り返られるようにする。

進路指導部より

国公立大学の個別学力検査の出願は、2月5日（水）に締め切られました。前期の個別学力試験は、2月25（火）・26（水）の両日に行われます。国公立大学の出願は、1月18日（土）・19（日）に実施されたセンター試験の結果をもとにして、志望動向や個別学力試験の教科・科目、出題傾向を勘案して決定します。個別試験は、大学により、実施教科・科目・配点などが異なりますし、年ごとの志望動向の変化により、合格ラインの上下もあります。いずれにせよ、基礎的な学力がなければ勝算はありません。6年生は、受験大学に合わせたそれぞれの対策に集中しています。ここまで積み上げてきた努力を活かすために、残り20日間の戦いに挑んでいます。

今年のセンター試験では、国語や数学などで、次年度の大学入学共通テストを見据えた出題の変化がありました。5年生の1月進研模試でも、出題傾向が変化した教科・科目がありました。今後の模試では、確実に基礎力を身につけた上で、臨機応変に対応する応用力が問われます。センター試験では、この変化に対応できなかった受験生の得点が伸び悩みました。特に5年生は新入試に最初に挑みます。国・数の記述と英語リスニングの外部試験は無くなりましたが、大学入学共通テストは、確実に難易度も出題形式も変わります。対応のためには、模擬試験が重要です。解説冊子が受験教材として重要となるので、ポイントをマーカーで明示するなど振り返りを確実に行ってください。解説冊子はファイルに綴じ込んでしっかり保管し、時間をおいて丁寧に復習してください。

4年生・5年生ともに、学習に積極的な人が多くなりました。しかし、まだ調子に乗っていない人もいます。志望大学合格のための基礎力は、これから1年、2年の過ごし方で決定します。特に、高3・「0学期」を送っている5年生のみなさん！もう勝負は始まっています。

